



銀河鉄道999

シネマ・コンサート 特別追悼公演
～松本零士さんを偲んで～

アニメ史上に残る珠玉の名作『劇場版 銀河鉄道999』
大スクリーンでの映画全編上映×フルオーケストラの生演奏で!!
一つの旅はおわり、また新しい旅が始まる

2023年2月13日惜しまれながらも星の海に旅立たれた松本零士さんを偲び、『銀河鉄道999 シネマ・コンサート』の特別追悼公演の開催が決定。

『銀河鉄道999 シネマ・コンサート』は、2021年2月に東京・大阪で初演、6月再演、11月に劇場版2作品一挙2上演、22年1月に大阪での再演と開催し、松本零士作品を愛する多くの方々からご好評をいただきました。追悼公演は、松本零士が少年時代を過ごしたゆかりある地・北九州と東京で開催。

シネマ・コンサートとは、映画のセリフや効果音はそのままに、音楽パートをフル・オーケストラが映画全編上映に合わせて生演奏するもので、映画をライブ感覚で楽しめるエンターテインメント。劇場版『銀河鉄道999』の音楽は、香木望作曲、子供のころからクラシックが大好きであったという松本零士がリクエストした叙情的なバイオリンの旋律が印象深く作品を彩る。主題歌はTVやCMでも馴染みの『銀河鉄道999 / THE GALAXY EXPRESS 999』。松本零士は、過去のインタビューで「音楽は映像中の人物の体を支えて一緒に立ち上がってくる。映画『銀河鉄道999』では、それが実現できました」と語った。指揮：栗田博文のもと、九州交響楽団（北九州公演）、東京フィルハーモニー交響楽団（東京公演）が大スクリーンでの映画全編上映に合わせて生演奏でお届けする。

「『限りある命だからこそ頑張る、命を食いしばって、成し遂げるぞという強い志を持ち続けよう』というのがメッセージです。一つの私の思いの物語は、まだ終着駅には着きません。始発駅に戻ることもない。『999』同様、私の旅にも終わりはないのです。」と語った松本零士。

いま、万感の想いを込めて、汽笛が鳴る
いま、万感の想いを込めて、汽笛が行く
一つの旅はおわり、また新しい旅が始まる

大スクリーンに映える壮大なスペースファンタジーとオーケストラの生演奏が引き起こすシネマ・コンサートならではの感動体験、世界的楽道家：松本零士さんが描き示してくれた世界を、シネマ・コンサートで、“時の輪の接する”会場で、ご体感ください。

- 会場アナウンスを鉄郎&メーテルが担当!!
- 会場でのグッズ販売について
- コンサートパンフレット事後通販 (9/30 23:59まで)

銀河鉄道999 シネマ・コンサート 特別追悼公演

銀河鉄道999 シネマ・コンサート 特別追悼公演
～松本零士さんを偲んで～

見る YouTube

SCHEDULE

2023年
8月26日(土) 15:00開場
16:00開演
北九州ソレイユホール 大ホール

2023年
8月31日(木) 17:30開場
18:30開演
東京国際フォーラム ホールA

上映作品『劇場版 銀河鉄道999』（1979年公開）

『銀河鉄道999』最初の劇場用長編。SFアニメブームを巻き起こした、日本アニメ史上に残る珠玉の名作。身体を機械に変えることで人間が永遠の命を手にした未来。機械の身体を買うことができない鉄郎は、機械の身体をタダでくれる星へ向かう銀河超特急999号に搭れていた。やがて母を機械伯爵に奪われた鉄郎は、謎の美女メーテルから999号のパスをもらい、ともに地球を旅立つ。旅中のアンタレスや女海賊エメラルダス、キャプテン・ハーロックとその親友大山トシローとの出会いによって、鉄郎はたくましく成長していった。しかし、999号の最終駅には……

製作	東映アニメーション	【声の出演】	
総監	香坂	星野鉄郎	野沢信子
企画・原作・構成	松本零士	メーテル	池田昌子
製作総指揮	寺田智高	クレア	原上洋子
企画	香高 健・香見典雄	美空	川村幸太郎
脚本	石森史郎	キャプテン・ハーロック	井上和久
絵巻	香川雅之	クイーンズ・エメラルダス	田島令子
監督	りんたろう	大山トシロー	富山敬
作画監督	小池博一男	プロメシューム	平泉義典
美術	松尾 昭・窪田忠雄	ナレーター	城達也
音楽	香木 望		

主題歌『銀河鉄道999 / THE GALAXY EXPRESS 999』
挿入歌『サイキング・ガム! / TAKING OFF!!』 / ロダイゴ

TICKET

S席¥9,800 A席¥7,800

※全席指定・税込
※3歳未満のお子様のご入場はお断りさせていただきます

公演に関する問合せ
【北九州】
キョードー西日本 0570-09-2424 (平日・土曜11:00-15:00)
【東京】
ディスクガレージ <https://info.diskgarage.com/>

プレイガイド

ローソクチケット ▶ <https://l-tike.com/999/>
※ローソクチケットではビュッケーチケット受付も有り（7/22(土)23:59まで）。先着受付のため、予定枚数に達し次第、受付終了となります。

チケットぴあ ▶ <https://w.pia.jp/t/galaxyexpress999/>

イープラス ▶ <https://eplus.jp/999/>

楽天チケット ▶ <http://r-t.jp/999/>

北九州ソレイユホール ▶ ソレイユホール事務所窓口
電話申込 093-592-5405 (9:00～18:00/休館日
※北九州公演のみ)

CAST

タケカワユキヒデ

1952年10月22日生まれ。音楽教授の父を持ち、5歳からバイオリン、10歳から作曲を始める。1975年、東京外国語大学在学中に全曲英語詞のアルバム『走り去るロマン』でソロアーティストとしてデビュー。翌76年にゴダイゴ結成。ボーカルと作曲を担当し『ガンダーラ』『モンキーマジック』『銀河鉄道999』『ビューティフルネーム』など、数多くのヒット曲を生む。80年代以降もヒットメーカーとして、アーティストの楽曲提供や、映画音楽にCMソング・主題歌等を数多く手掛ける。現在は音楽活動の他、エッセイなどの執筆活動、テレビ・ラジオ番組への出演や講演・コンサート活動と幅広く活躍中。2006年には結婚30周年を機にゴダイゴも恒久的再始動を宣言する。詳しくは公式サイトHP <https://www.takekawayukihide.com/>

指揮 栗田博文

1988年第23回東京国際音楽コンクール指揮部門において第1位、翌年国内主要オーケストラを指揮しデビュー。1989年に渡欧。同年、第1回アントニオ・ベドレッティ国際指揮者コンクールに入賞。1995年第1回シベリウス国際指揮者コンクールの最高位に輝く。同年、フィンランド放送交響楽団より招かれ、ヨーロッパデビューを果たす。古典から現代作品まで幅広いレパートリーを持ち、様々なジャンルとのコラボレーションにも積極的に取り組む。国立音楽大学客員教授。栗田博文ブログ <http://hirofumi-kurita.com/>

8/26 (北九州公演) 管弦楽
九州交響楽団

1987年創立。九州の音楽界をリードするプロのオーケストラとして、年間約150回の演奏活動を行っている。正統派の演奏、ファミリーコンサートなど、福岡県を中心に九州各地で年間約150回の演奏活動を行っている。2013年小泉和裕が音楽監督に就任。これまでに福岡市文化祭、西日本文化祭、文部大臣地域文化功労賞、福岡県文化賞を受賞。東京2020オリンピック競技大会閉会式のアトラクション用楽曲に、九州交響楽団演奏の『武満徹/「渡の宴」』が使用された。

8/31 (東京公演) 管弦楽
東京フィルハーモニー交響楽団

1911年創立、日本で最も長い歴史をもつオーケストラ。シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せ持つ。名誉音楽監督ジョン・ティンパ、首席指揮者アンドレア・バッチェッティ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフ。自主公演の他、新国立劇場他でのオペラ・バレエ演奏、NHK他における放送演奏で高水準の演奏活動を展開。海外公演も積極的にを行い、高い注目を集める。1989年よりBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を締結。https://www.tpo.or.jp/

8/26 (北九州公演) 女性ヴォーカル
綿引さやか

2013年「レ・ミゼラブル」にてアンサンブルからエポニーヌ役に抜擢。2018年ロサンゼルス・Hollywood Bowlで開催された「Beauty and the Beast in concert」に唯一の日本人として抜擢され、さらに翌年開催されたコンサート「THE LITTLE MERMAID AN IMMERSIVE LIVE-TO-FILM CONCERT EXPERIENCE」にもオフィサーを受け出演。Hollywood Bowlのステージに2年連続で出演したのは日本人初。また、南アフリカの日本大使公邸で行われたコンサートや、スウェーデン国王、王妃両陛下の前で歌唱を務めるなど、海外へも活躍の場を広げている。

8/31 (東京公演) 女性ヴォーカル
小此木麻里

6歳で子役デビュー。舞台やコンサートを中心に活動。近年出演作品に、TBS「渡る世間は鬼ばかり」野々下ミカ役、TEAM NACS「PARAMUSHIR-値じ旅けた土俵の旗を掲げて」、由美子役、「ミュージカル手紙 2017」白鳥のり子役、「アトミック・ブレイク」アトミック・ブレイク役、「THE 11」インディ・ジョーンズ役、「ハリウッド・ポスター・シリーズ」『タイタニック』『ローラ・リン』『砂の姫』『経道院 (ばっばや)』『ルパン三世カリオカストロの城』など、珠玉の名作が上演されてきました。

シネマ・コンサート (シネオケ®) とは…

“大スクリーンでの映画全編上映×フルオーケストラ生演奏”でお届けする新たなスタイルのコンサートが「シネマ・コンサート (シネオケ (R))」。音楽やセリフ、効果音はそのままに、劇中に流れる音楽パートをフルオーケストラが大スクリーンでの映画全編上映に合わせて生演奏する。映画をライブ感覚で体感できる最も贅沢な映画鑑賞スタイル。映像・音楽の両力は、臨場感を増強させ、記憶に残る名シーン・登場人物の心理描写までもがより鮮やかに響いてきます。大迫力の映像と音楽が新たな感動体験を呼び起こし、心霊を揺るがすことにもつながります。ヨーロッパやアメリカなどで人気を博し、日本では『ゴッドファーザー』『スターウォーズシリーズ』『バック・トゥ・ザ・フューチャー』『E.T.』『インディ・ジョーンズ』『ハリウッド・ポスター・シリーズ』『タイタニック』『ローラ・リン』『砂の姫』『経道院 (ばっばや)』『ルパン三世カリオカストロの城』など、珠玉の名作が上演されてきました。

